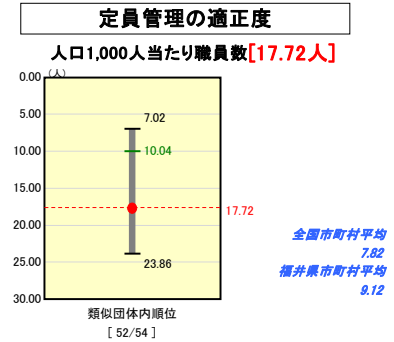
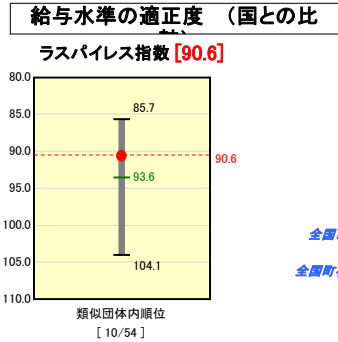
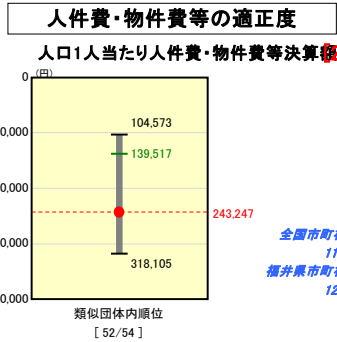
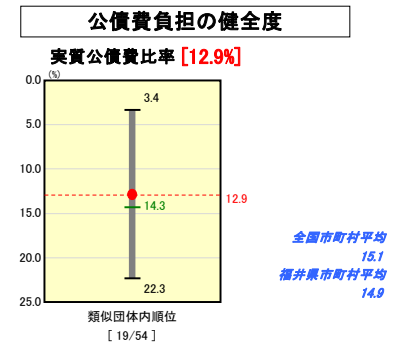
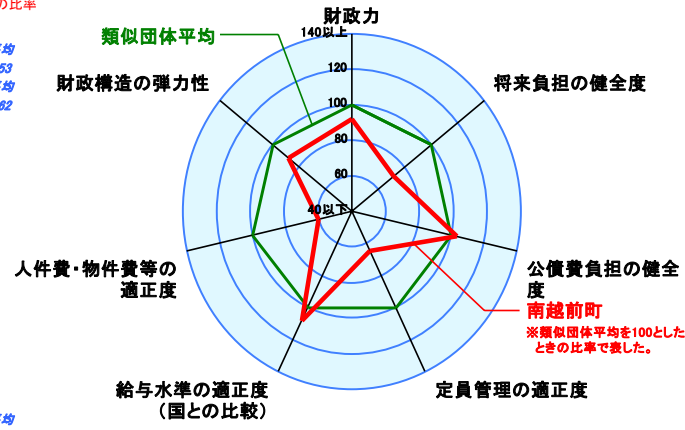
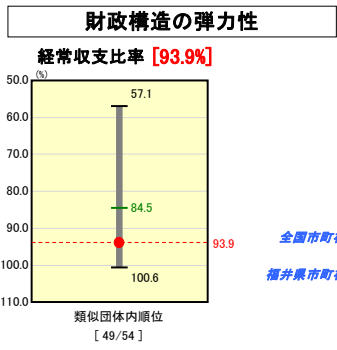
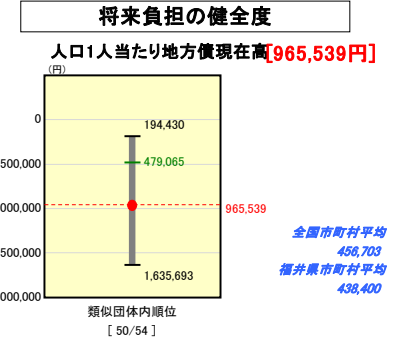
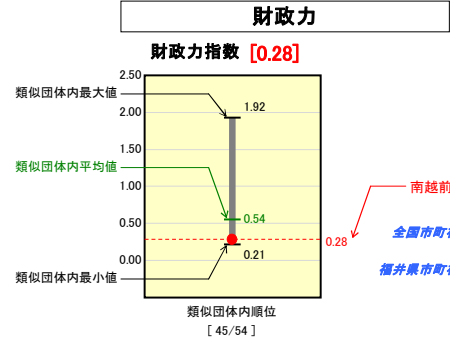


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福井県 南越前町

人口	12,470	人(H19.3.31現在)
面積	343.84	km ²
歳入総額	11,359,306	千円
歳出総額	11,019,445	千円
歳入総額	320,337	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析概

※平成17年1月1日に、旧南条町、旧今庄町、旧河野村が合併し、南越前町になった。

◎財政力指数
町内に中心となる産業がないことや人口の減少及び高齢化の進展により町税収は伸び悩んでおり、指数は類似団体を大きく下回っている。今後とも大幅な増収の見込みがないのが現状であるが、若者の定住施策や産業の育成施策等により、町税の増収に努める。

◎経常収支比率
対前年度比で2.0%圧縮したが、扶助費や繰出金の増加等もあり、93.9%と類似団体平均を大きく上回っている。特に繰出金は、下水道事業に係る分派式経費を基準内繰出として扱ったことによる。扶助費は資格審査等の適正化による抑制を図るとともに、繰出金については、基準内の多くが地方債償還に係る繰出であることから、積極的な借換による利子償還金の抑制・縮減に努める。こうした取り組みにより、「平成19年度決算以降は90%以下」を目標として改善に努める。

◎ラスパイレース指数
給与については、平成18年度に上下の職務の級間での水準の重なりが大きかった年功的な要素が強い給料表の構造を見直し、8級制から6級制に移行しており、ラスパイレース指数は類似団体平均を下回っている。今後も引き続き各種手当の見直しを検討し、より一層の給与の適正化に努める。

◎実質公債費比率
過去から、地方交付税措置のある有利な地方債を活用して事業を実施してきたことにより、類似団体平均を下回っているが、地方債現在高が高いことから、増加傾向にある。今後の地方債発行に当たっては上限枠を設定するなどして、水準の抑制に努める。

◎人口1人当たりの地方債現在高
市町村合併に伴い、建設計画に基づく大型の普通建設事業を平成17・18年度に実施したことにより、発行額が増加し、類似団体と比較して2倍以上上回っている。その多くが交付税措置のある起債であるため、実質公債費比率は低い水準ではあるが、後世への負担を少しでも軽減し、町の財政規模に合わせた上限枠を設定するなどして、発行を抑制し、財政の健全化を図る。(平成20年度決算時まで人口1人当たり地方債現在高を88万円以内で圧縮する。)

◎人口1,000人当たり職員数
合併により類似団体平均を上回っているが、事務事業の見直しによる課内室の廃止や、退職者に対するの採用者抑制等により9人減している。今後も施設の民営化や各部門の統廃合を行い、今後4年間で5.6% (15名) 削減する計画である。

◎人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体と比較して高くなっているのは、合併により職員数が多いことと、公共施設の統廃合が進んでいないことにより管理経費の抑制が停滞していることが起因している。人件費は今後、人数を4年間で5.6%削減することにより抑制する。公共施設管理経費については、施設の統廃合を押し進めるほか、指定管理者制度の導入などによりコストの軽減を図る。